

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサークル見和（放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 17日		2026年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	2025年 12月 22日		2026年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもや保護者のニーズ、課題等を、管理者および児童発達支援管理責任者をはじめとするスタッフ全員で共有したうえで個別支援計画を作成し、それに基づいた支援を行っている。	児童の発達や特性に応じた個別的な課題について、支援方法を職員間で検討・共有し、共通理解のもと支援を実施している。	職員間での情報共有をより密に行い、児童の小さな変化等を見逃さない支援体制の構築を進めていく。
2	療育スペースの整理整頓に努め、こどもにとって安全な環境を提供している。	生活空間の整理整頓や清掃に努め、こどもが心地よく過ごせる環境づくりを行っている。また、児童の活動内容に応じた配置等の工夫を行っている。	ヒヤリ・ハット報告等を活用し、環境整備についてより一層安全面に配慮した配置や、危険箇所の早期発見・改善に努めていく。
3	活動内容が固定化されないよう、職員間でアイデアを出し合い、日々の活動内容を計画している。	月ごとのイベントカレンダーを作成し、保護者へ活動内容等の周知を行っている。また、限られたスペースでも実施可能な活動内容となるよう、日々検討を行っている。	安全面にも十分配慮しながら、活動内容の計画および実施を行い、より充実した療育活動につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流、また地域の他のこどもと活動する機会が少ない。	地域や他のこどもと関わることを意図した企画が少なく、事業所内で行う活動が中心となっているため。	地域のイベントへ積極的に参加するとともに、地域を巻き込んだ活動を企画・周知し、交流の機会を増やしていく必要があると考える。
2	定期的に避難訓練等、こどもの安全確保に関する取組を行っているが、その内容がすべての保護者に十分に周知されていない状況がある。	契約時の説明内容の不足や、実施している取組に関する情報発信の内容および方法が十分でないため。	事業所で行っているこどもの安全確保に関する取組について、ブログ等を活用して保護者へ積極的に情報発信を行う。また、より一層こどもの安全が確保できる取組についても継続的に検討していく。
3			